

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	高齢者に対する緊急手術の予後調査
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 救急科 (職名) 准教授 (氏名) 菊池聡
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 12 月 31 日
対象となる方	2020 年 1 月から 2028 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち救急科と消化器腫瘍外科で緊急手術を受けられた 20 歳以上の患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	高齢化社会に伴い、手術を受ける患者の年齢も高齢化している。待機手術とはことなり、緊急手術は患者の社会的背景や併存疾患の情報が不十分なまま手術を行う場合がある。高齢者は生理的予備能力が低く、併存疾患も多いため、若年患者と比べて術後の合併症や死亡率が高い傾向にある。本研究では当院で外傷や汎発性腹膜炎などの内因性疾患で緊急手術となった高齢者のデータを解析することにより、予後因子の特定や最適な治療戦略の確立に寄与することを目的とする。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は

	学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院救急科 菊池聡 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5722